

循環ループ縮小化工事の 不具合対応状況について

2016.06.30

東京電力ホールディングス株式会社

©Tokyo Electric Power Company Holdings, Inc. All Rights Reserved.

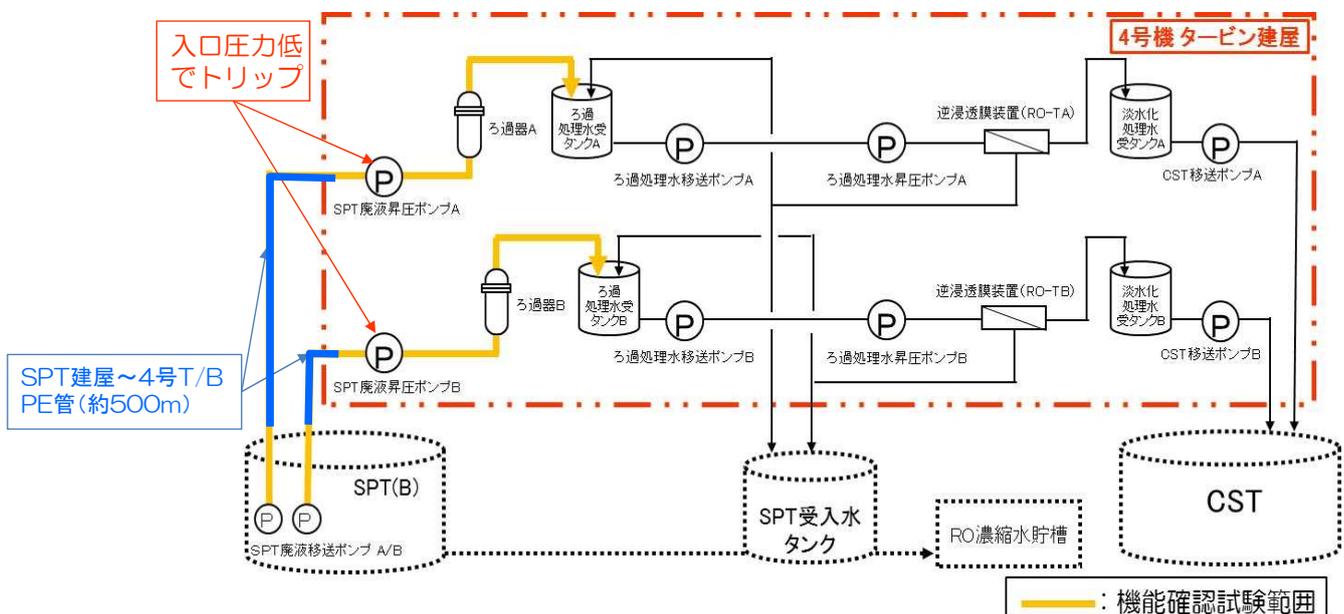
無断複製・転載禁止 東京電力ホールディングス株式会社

TEPCO

1. 定格流量確保に向けた課題について

1

- 4/11：機能確認試験での流量増加時、A/B系共に、**定格流量（35m³/h）に至る前（約30m³/h）にSPT廃液昇圧ポンプが入口圧力低でトリップする事象発生。**
- 当該事象に関する調査の結果、**配管圧損の想定が不足**していることを確認。



©Tokyo Electric Power Company Holdings, Inc. All Rights Reserved.

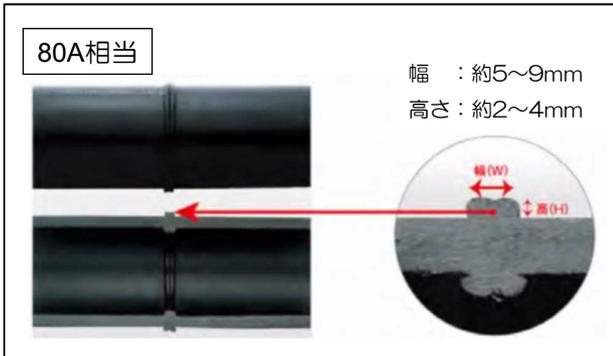
無断複製・転載禁止 東京電力ホールディングス株式会社

TEPCO

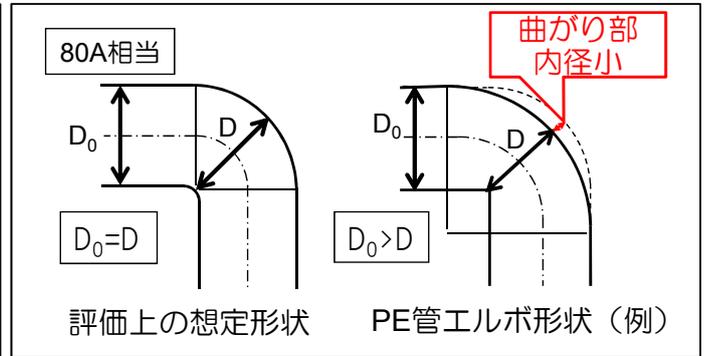
2. 配管圧損の想定不足について

2

- PE管の圧損評価は鋼管と同等に行っていたが、詳細形状を確認した結果、以下の圧力損失増加要因を確認
 - 突き合わせ融着部の継目形状に起因した圧力損失の増加
 - エルボ（曲がり部）形状の相違（曲がり部内径小）に伴う圧力損失の増加



PE管 継目形状イメージ

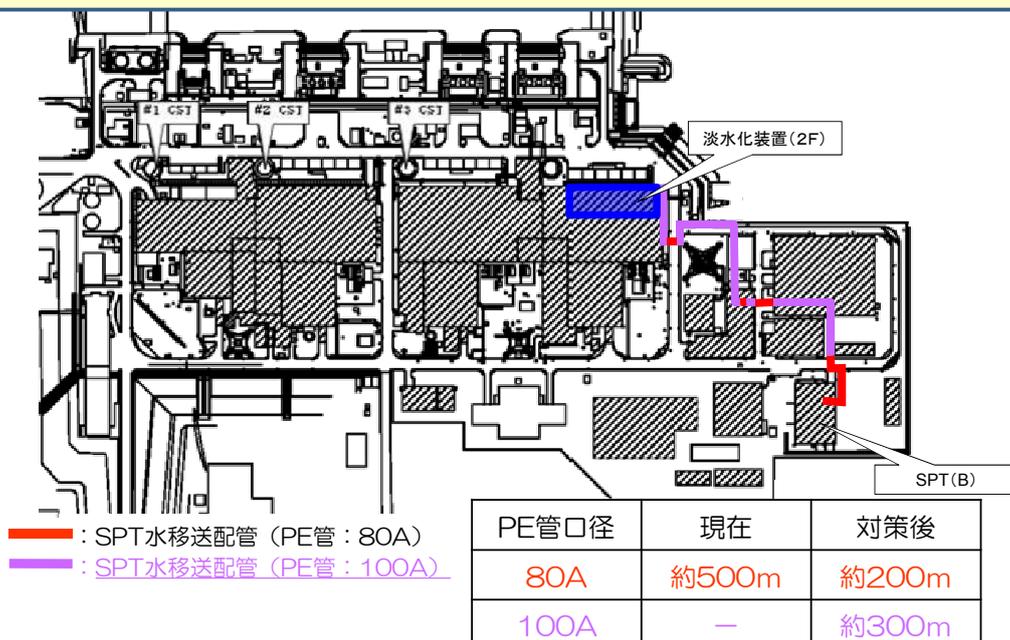


PE管 エルボ形状の相違

3. 定格流量確保に向けた対策について

3

- 定格流量を確保する対策として、配管口径を拡大（80A相当→100A相当）し、配管圧損の低減を図る予定。
- 現状の設置スペースを踏まえ、ルート変更等を行うことなく変更が可能な範囲※から選定
 - ※ 地中埋設部、建屋貫通部の一部等を除く範囲



4. スケジュール

- 平成28年6月10日に実施計画変更を申請。
- トラフ蓋開放等の準備作業を行い，PE管（80A相当）の撤去を6月13日より開始。
- 上記作業と並行し，新規PE配管（100A相当）を設置中（6月20日～）。
- 今後，実施計画変更の審査を経て，使用前検査等，運用開始に向けた対応を行う予定。

